Product name = Ｇｒｉｅｆ、Reiki

Features＆Functions（I : Device Function）編

TOKIWA  
I.I : IOT Device Functions

作成者： CT開部 CTD制御開統G 2G  
 藤田　裕三

D1.0.0

＜目次＞

TOKIWA I.I : IOT Device Functions 1

1. 本書の目的と位置づけ 5

2. IOT概要 6

2.1. IOTの種類 6

2.2. 構成 6

2.2.1. IOT本体構成 6

2.2.2. 標準構成とオプション 6

2.2.3. トレイおよびオプション装着検知 6

2.2.4. オプションの故障と機能制限 6

2.2.5. キット構成 6

2.3. 生産性 7

2.3.1. IOT FPOT 7

2.3.2. IOT連続プリント速度 7

2.4. IOTの動作モード（省エネ対応） 7

2.5. 機能一覧 7

3. IOT機能詳細 8

3.1. 用紙 8

3.1.1. 用紙サイズ 8

3.1.2. 用紙種類 8

3.2. 用紙トレイ関連機能 8

3.2.1. SMHの用紙サイズ入力 8

3.2.2. 給紙トレイの用紙サイズの設定 8

3.2.3. 用紙種類の設定 8

3.2.3.1. 用紙種類の設定 (プロフェッショナル仕様-カスタム紙種) 8

3.2.3.2. 用紙種類の設定 (プロフェッショナル仕様-PGS1312SGP) 9

3.2.3.3. (欠番) 9

3.2.4. SMH Media Popup 9

3.2.5. 用紙の色属性の設定 9

3.2.6. 用紙の穴空き属性の設定 9

3.2.7. 用紙属性の設定 9

3.2.8. 用紙種類の優先順位 9

3.2.9. (欠番) 9

3.2.10. トレイ優先順位 9

3.2.11. 直接トレイ指定（DTS） 9

3.2.12. 直接トレイ指定（手差しトレイ） 9

3.2.13. 自動トレイ選択（APS） 9

3.2.14. 自動トレイ選択（クラスタ） 10

3.2.15. 自動トレイ選択（手差しトレイ） 10

3.2.16. 自動トレイ切り替え（ATS） 10

3.2.17. 手動トレイ切り替え(MTS) 10

3.2.18. Interposer 10

3.2.19. 手差しトレイ印刷確認 10

3.2.20. 自動トレイ選択(グループトレイ) 10

3.3. 用紙搬送関連機能 11

3.3.1. 部数指定 11

3.3.2. Collate/Uncollate指定 11

3.3.3. 自動両面 11

3.3.4. (欠番) 11

3.3.5. サンプルプリント 11

3.3.6. セパレートシート 11

3.3.7. (欠番) 11

3.3.8. (欠番) 11

3.4. Output装置関連機能 12

3.4.1. 排出先指定 12

3.4.1.1. (欠番) 12

3.4.2. 排出面指定 12

3.4.3. Offset排出指定 12

3.4.4. Staple指定 12

3.4.5. Punch指定 13

3.4.6. 折り指定（Z折りとLetter折り） 13

3.4.7. 折り指定（二つ折り/中折り）指定 13

3.4.8. 中綴じ指定 13

3.4.9. 角背仕上げ指定と小口断裁指定 13

3.4.10. 小冊子時の画像自動シフト 13

3.4.11. 折り筋と折り強化 13

3.4.12. 天地断裁 13

3.4.13. くるみ製本 13

3.4.14. 組み合わせ禁止に対する解決規則 13

3.4.15. フルスタック検知 13

3.4.16. Finisher一時停止 13

3.4.17. Folder Trayの用紙取り出しボタン 13

3.4.18. Booklet Trayの用紙取り出しボタン 13

3.4.19. HCS Trayの用紙取り出しボタン 13

3.4.20. くるみ製本トレイ(Perfect Binder Tray)の用紙取り出しボタン 14

3.4.21. HCS重連時の排出先自動切り替え 14

3.4.22. ジョブ連結(複数ジョブのセット結合) 14

3.5. 印字関連機能 15

3.5.1. 解像度と階調 15

3.5.2. カラーモードの切り替え 15

3.5.3. 印字エリア 15

3.5.4. イメージエンハンス 15

3.5.5. 線幅調整（白抜き文字の強調/黒文字の細線化） 15

3.6. デバイス状態の確認 16

3.6.1. IOTの状態 16

3.6.2. カバーの状態 16

3.6.3. ジャム情報 17

3.6.4. 用紙トレイの状態 20

3.6.5. 排出トレイ、出力装置の状態 21

3.6.6. 消耗品、定期交換部品の状態 21

3.6.6.1. (欠番) 21

3.6.6.2. (欠番) 21

3.6.7. 定着器の動作状態 21

4. 備考/補足 22

4.1. 用紙トレイ 22

4.1.1. 封筒の置き方 22

4.1.2. Tab紙の置き方 22

4.1.3. くるみ製本に関する補足事項(制限事項) 22

4.2. IOT機内温昇時の半速動作 22

4.3. 個別対応一覧 23

5. 改訂履歴 24

付録 – 別冊 ―  
Appendix オプション (Greif編)  
Appendix 用紙仕様 (Grief編)  
Appendix 消耗品 (Grief編)  
Appendix オプション (Reiki編)  
Appendix 用紙仕様 (Reiki編)  
Appendix 消耗品 (Reiki編)

# 本書の目的と位置づけ

本書は、GriefとReiki用の仕様を記述する。

**＜関連仕様書＞**

IOT 性能仕様書  
Greif\_IOT\_仮性能仕様書\_K0.2  
Reiki\_IOT\_仮性能仕様書\_????

Systems性能仕様書  
 Greif\_CPS\_仮性能仕様書\_K0.2  
 Reiki\_CPS\_仮性能仕様書\_K0.2

用紙・原稿定型サイズ表  
MF\_Appendix-10(定形サイズ表)\_K1\_20190712

用紙種類一覧  
MF\_Appendix-10(用紙種類一覧表)K3\_2019xxxx

消耗品リスト  
消耗品リスト\_Greif\_K1.0\_2020xxxx  
消耗品リスト\_Reiki\_K1.0\_2020xxxx

本書にて記載しているシステムデータ（IOT　NVM）の値と、システム基本仕様書/ChainLink編/SystemData/IOT(Finisher等含む)のシステムデータ　と差異がある場合は、ChainLink編の記述を優先する。

# IOT概要

## IOTの種類

IOTの種類については、「IOT性能仕様書」を参照のこと。

付録のオプションを参照のこと。

## 構成

### IOT本体構成

IOT本体構成については、「IOT性能仕様書」等を参照のこと。

### 標準構成とオプション

標準構成とオプションについては、「IOT性能仕様書」および「オプションリスト」を参照のこと。

本書での「Option」の記載は、IOTデバイスとして着脱が可能な機能を表している。  
商品構成は「性能仕様書」を参照のこと。  
構成図は、性能仕様書を参照のこと。

### トレイおよびオプション装着検知

＜システムデータ＞

付録のオプションを参照のこと。

### オプションの故障と機能制限

＜動作/内容＞

付録のオプションを参照のこと。

### キット構成

(IOT Device Functions Common編と同じ)

## 生産性

### IOT FPOT

定義および各値については、「IOT性能仕様書」を参照のこと。

### IOT連続プリント速度

定義および各値については、「IOT性能仕様書」を参照のこと。

<参照>  
IOT性能仕様書　3.5.2　同一原稿のプリントスピード

## IOTの動作モード（省エネ対応）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

<参照>  
IOT性能仕様書　3.1　動作モード

## 機能一覧

付録のオプションを参照のこと。

# IOT機能詳細

## 用紙

### 用紙サイズ

<動作内容>

1. 参考情報として、各用紙トレイ・排出トレイ等で使用可能な定形サイズを「用紙サイズ一覧(Appendix 用紙仕様)」に示す。
2. 参考情報として、各用紙トレイ・排出トレイで使用可能な定形外サイズは、「用紙サイズ一覧(Appendix 用紙仕様)」に示す。

### 用紙種類

<動作内容>

1. 参考情報として、各用紙トレイ・排出トレイ等で使用可能な用紙種類「用紙種類一覧(Appendix 用紙仕様)」に示す。
2. 参考情報として、各用紙種類に設定可能な制御上の分類を「画質制御分類一覧(Appendix 用紙仕様)」に示す。

## 用紙トレイ関連機能

### SMHの用紙サイズ入力

＜動作/内容＞

1. "フリーサイズ自動検知"はサポートしない。

### 給紙トレイの用紙サイズの設定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 用紙種類の設定

<動作内容>

1. 収容されている用紙の種類を設定することができる。
2. サポートする用紙種類は「用紙種類一覧(Appendix 用紙仕様)のトレイに設定可能な紙質」を参照のこと。  
   ただし、用紙種類「封筒」については、さらに下記のシステムデータが有効になったときにサポートする。

<制限注意事項>

| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 | 備考  (構成またはデフォルト値) |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| タックフィルムサポート | CE | "する" (FX/AP) | "しない"  "する" |  |
| 布地転写紙サポート | CE | "しない" (FX/AP) | "しない"  "する" |  |
| はがきサポート | CE | "しない" (AP)  "する" (FX) | "しない"  "する" | 用紙種類のはがき |
| 封筒サポート | CE | "しない" | "しない"  "する" | 用紙種類の封筒　(注) |

(注) 封筒用定着器装着時、自動的に”する”に変更される。封筒用定着器をはずしても設定は変更されない。

#### 用紙種類の設定 (プロフェッショナル仕様-カスタム紙種)

(IOT Device Functions Common編と同じ)

本プロダクトでは100種類のカスタム紙種を設定することができる。

#### 用紙種類の設定 (プロフェッショナル仕様-PGS1312SGP)

(サポートしない)

#### (欠番)

### SMH Media Popup

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 用紙の色属性の設定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 用紙の穴空き属性の設定

(サポートしない)

### 用紙属性の設定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 用紙種類の優先順位

(サポートしない)

### (欠番)

### トレイ優先順位

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 直接トレイ指定（DTS）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 直接トレイ指定（手差しトレイ）

＜動作/内容＞

1. “固定サイズ”もしくは”任意サイズ”の指定時の動作  
   エラーとする条件は、主走査幅、副走査長の差がそれぞれ下記を超える時とする。  
   主走査幅： TBD±09.3mm  
   副走査長： TBD±10.0mm
2. “定型サイズ自動検知”指定時の動作

* SMHにセットされた用紙サイズの確定において、

1. 主走査方向長で、サイズミスマッチとする条件：　TBD±09.3mm
2. 副走査方向長で、サイズミスマッチとする条件：　TBD±10.0mm

### 自動トレイ選択（APS）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 自動トレイ選択（クラスタ）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 自動トレイ選択（手差しトレイ）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 自動トレイ切り替え（ATS）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 手動トレイ切り替え(MTS)

(サポートしない)

### Interposer

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 手差しトレイ印刷確認

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 自動トレイ選択(グループトレイ)

(IOT Device Functions Common編と同じ)

## 用紙搬送関連機能

### 部数指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### Collate/Uncollate指定

＜動作/内容＞

すべての排出先にて、裏面排出も表面排出も可能である。(仕様的な制限はある)  
すべてのDT Serviceは、原稿ページ順の指定をしない。

### 自動両面

＜動作/内容＞

システムデータ「奇数ページモノ強制両面」について。  
本システムデータは、「両面」をデフォルト値とし、変更不可とする。

### (欠番)

### サンプルプリント

排出装置HCSが装着された場合のみ、サポートする。

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| 位置指定サンプルの内数・外数切り替え | KO | "内数" | "内数"  "外数" |
| ダイナミックサンプルの内数・外数切り替え | CE | "内数" | "内数"  "外数" |
| ダイナミックサンプルの制御主体 | CE | "Controller" | "Out装置"  "Controller" |

### セパレートシート

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### (欠番)

### (欠番)

## Output装置関連機能

### 排出先指定

付録のオプションを参照のこと。

＜動作/内容＞

1. Finisher Trayへの排出時は、Finisher Tray用のCompiler Trayに一旦排出し、蓄積した上で排出する。蓄積は、セット単位で行うが、OffsetまたはStapleが指示された場合は、そのセット単位で排出する。  
   ただし、Stapleが指示されていないときは、システムデータ「Compiler Tray制限枚数」で規定される用紙枚数蓄積した時点で排出される。  
   また、セット排出が不可能な用紙の場合は、一枚づつ、蓄積することなく排出する。  
   また、Stapleをジョブの途中で解除した場合、または、そのジョブが途中でキャンセルされた場合などでは、Compiler Tray上の用紙をユーザーが取り除かなければならないときがある。

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| Compiler Tray制限枚数 (小サイズ) (IOT NVM) | CE | 10枚  25枚 | Fin NVM参照 |
| Compiler Tray制限枚数 (大サイズ) (IOT NVM) | CE | 10枚  25枚 | Fin NVM参照 |
| Compiler Tray制限枚数 (厚紙1小サイズ) (IOT NVM) | CE | －  10枚 | Fin NVM参照 |
| Compiler Tray制限枚数 (厚紙1大サイズ) (IOT NVM) | CE | －  10枚 | Fin NVM参照 |

\*　小サイズと大サイズは、用紙のサイズで区別する。用紙サイズが小サイズであるとは、サイズが副走査方向で216mm以下である場合である。

\*　デフォルト値について、上段は、CH-Finisherで、下段は、D2G-Finisher。

\*　厚紙1用のものは、D2G-Finisherだけに存在する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲 |
| センタートレイの代替排出先の指定 | CE | "指定なし" | "指定なし"  "フィニッシャトップトレイ"  "フィニッシャスタッカ" |

#### (欠番)

### 排出面指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### Offset排出指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

1. リカバリオフセット機能はサポートしない。
2. 静音オフセット動作はサポートしない。

### Staple指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### Punch指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 折り指定（Z折りとLetter折り）

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 折り指定（二つ折り/中折り）指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 中綴じ指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 角背仕上げ指定と小口断裁指定

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 小冊子時の画像自動シフト

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 折り筋と折り強化

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 天地断裁

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### くるみ製本

(サポートしない)

### 組み合わせ禁止に対する解決規則

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### フルスタック検知

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### Finisher一時停止

(サポートしない)

### Folder Trayの用紙取り出しボタン

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### Booklet Trayの用紙取り出しボタン

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### HCS Trayの用紙取り出しボタン

(サポートしない)

### くるみ製本トレイ(Perfect Binder Tray)の用紙取り出しボタン

(サポートしない)

### HCS重連時の排出先自動切り替え

(サポートしない)

### ジョブ連結(複数ジョブのセット結合)

(サポートしない)

## 印字関連機能

### 解像度と階調

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### カラーモードの切り替え

＜動作/内容＞

1. 半速モード(光沢モード)をサポートする。

1. PGS0081SGPについて、TBD。

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲/備考 |
| 半速モード(光沢モード)の有無 | KO | "なし" | "なし"  "あり" |
| PGS0081SGP動作切り替えモード | CE | "切り替えあり（ライフ優先）" | "切り替えなし（標準）"  "切り替えあり（ライフ優先）" |
| スミア対策SW  (IOT NVM) | CE | "しない" | "しない"  "する" |

### 印字エリア

＜動作/内容＞

1. タブ紙をサポートする。
2. 穴空き紙に対する特別な縁けしは行わない。
3. 全面プリントは、サポートしない。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 意味 | 規定 | 最大サイズ |
| 印字可能エリア | 用紙に対してイメージを載せることができるエリア | [用紙サイズー縁消し量]と右記の最大サイズの小さい方 | 323.0mmx480.0mm  ＜長尺＞  323.0mmx1192.0mm |
| 印字保証エリア | 用紙に載せたイメージに対して像かけや画質の劣化がないことを保証するエリア | [用紙サイズー縁消し量]と右記の最大サイズの小さい方 | 317.0mmx480.0mm  ＜長尺＞  印字保証エリア外とする |

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲/備考 |
| 縁消し調整値（先端 カラー） (IOT NVM) | CE | 4.0mm | IOT　NVM　List参照。 |
| 縁消し調整値（後端 カラー） (IOT NVM) | CE | 4.0mm | ↑ |
| 縁消し調整値（先端 白黒） (IOT NVM) | CE | 4.0mm | ↑ |
| 縁消し調整値（後端 白黒） (IOT NVM) | CE | 4.0mm | ↑ |
| 縁消し調整値（サイド） (IOT NVM) | CE | 3.0mm | ↑ |
| タブ紙のタブ幅 | CE | 15.0mm | 7.0mm～20.0mm |

### イメージエンハンス

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### 線幅調整（白抜き文字の強調/黒文字の細線化）

(サポートしない)

## デバイス状態の確認

### IOTの状態

(変更点なし)

### カバーの状態

【状態】

<<Grief IOT>>

* Front Interlock
* Left Hand Cover Interlock
* Right Hand Cover Interlock
* PH Drawer Interlock
* MSI Cover Interlock
* TM Trans Path Drawer Interlock

<<Reiki IOT>>

* Front Interlock
* Left Hand Cover Interlock
* Right Hand Cover Interlock
* PH Drawer Interlock
* TM Trans Path Drawer Interlock

<<1段HCF (PF2 HCF)>>

* Transport Interlock
* Side Out Interlock

<<A3のびHCF (PF3.1 HCF)>>

* HCF Front Interlock
* HCF MSI Interlock

<<2段A3のびHCF (PF3.5 HCF)>>

* HCF Front Interlock
* HCF MSI Interlock

<<Cooling Decurler Module>>

* I/F Front Door

<<CH-Finisher>>

* Finisher Front Door
* Booklet Drawer
* MailBox Front Cover
* V-Tra Cover
* Folder Front Cover

<<Sparta Coil Puncher>>

* Front Door

<<Interposer Unit (D2G-Finisher)>>

* Trans Front Door
* Interposer Top Cover

<<TCBM Unit (D2G-Finisher)>>

* TCB Front Door

<<Folder Unit (D2G-Finisher)>>

* Folder Front Door

<<D2G-Finisher>>

* Finisher Front Door
* Booklet Drawer Set
* Trimmer Dust Box Set
* Trimmer Top Cover 1
* Trimmer Top Cover 2

<<外部排出接続装置>>

* Front Door

＜制限注意事項＞

1. 以下のインターロックは、システムデータ「IOT Interlock情報 (2)」にセットされ、それ以外は、システムデータ「IOT Interlock情報 (1)」にセットされる。  
   Dispense Cover Interlock

### ジャム情報

＜内容＞

【状態】

<<Greif IOT>> <<Reiki IOT>>

* TR1： Tray1
* TR2： Tray2
* TR3： Tray3
* TR4： Tray4
* TP： Trans Path
* LH-U： Left Hand Upper
* LH-H： Left Hand HCF
* LH-L： Left Hand Lower
* REG： Registration
* TNS： Transfer (X'fer)
* FSR-I： Fusing In
* FSR-O： Fusing Out
* EXT： Exit
* INV-U： Inverter Upper
* INV-M： Inverter Middle
* INV-L： Inverter Lower
* DUP： Duplex
* MSI： MSI
* LPP: LPP

<<1段HCF (PF2 HCF)>>

* HCF： HCF
* HT： HCF Transport

<<A3のびHCF (PF3.1 HCF)>>

* MH1： HCF MSI 1
* MH2： HCF MSI 2
* HTU： HCF Transport Upper
* HE： HCF Exit
* HTL： HCF Transport Lower
* HCF： HCF

<<2段A3のびHCF (PF3.5 HCF)>>

* MH1： HCF MSI 1
* MH2： HCF MSI 2
* HTU： HCF Transport Upper
* HE： HCF Exit
* HTL： HCF Transport Lower
* HCF1： HCF　上段
* HCF2： HCF　下段

<<CH-Finisher>>

* VTRA1： V-Tra 1
* VTRA2： V-Tra 2
* BKLT1： Booklet 1
* BKLT2： Booklet 2
* BKLT3： Booklet 3
* STK1： Stacker 1
* TOP1： Top Tray 1
* TOP2： Top Tray 2
* MBX： MailBox
* BIN1： MailBox Bin 1
* BIN2： MailBox Bin 2
* BIN3： MailBox Bin 3
* BIN4： MailBox Bin 4
* BIN5： MailBox Bin 5
* BIN6： MailBox Bin 6
* BIN7： MailBox Bin 7
* BIN8： MailBox Bin 8
* BIN9： MailBox Bin 9
* BIN10： MailBox Bin 10
* FLDR1： Folder 1
* FLDR2： Folder 2
* FLDR3： Folder 3
* FLDR4： Folder 4
* FLDR5： Folder 5

<<GC-Finisher>>

* VTRA1： V-Tra 1
* VTRA2： V-Tra 2
* BKLT1： Booklet 1
* BKLT2： Booklet 2
* BKLT3： Booklet 3
* STK1： Stacker 1
* STK2： Stacker 2
* TOP1： Top Tray 1
* TOP2： Top Tray 2
* MBX： MailBox
* BIN1： MailBox Bin 1
* BIN2： MailBox Bin 2
* BIN3： MailBox Bin 3
* BIN4： MailBox Bin 4
* BIN5： MailBox Bin 5
* BIN6： MailBox Bin 6
* BIN7： MailBox Bin 7
* BIN8： MailBox Bin 8
* BIN9： MailBox Bin 9
* BIN10： MailBox Bin 10
* FLDR1： Folder 1
* FLDR2： Folder 2
* FLDR3： Folder 3
* FLDR4： Folder 4
* FLDR5： Folder 5

<<CDM: Cooling Decurler Module>>

* C1
* C2
* C3
* C4
* C5

<<Sparta Coil Puncher>>

* 1
* 2
* 3
* 4

<<Interposer Unit (D2G-Finisher)>>

* I1
* I2
* I3
* I4
* I5
* I6

<<TCBM Unit (D2G-Finisher)>>

* T1
* T2
* T3
* T4
* T5
* T6
* T7

<<Folder Unit (D2G-Finisher)>>

* F1
* F2
* F3
* F4
* F5

<<D2G-Finisher>>

* X1
* X2
* B1
* B2
* B3
* S0
* S1
* S2
* S3
* S4
* S5
* S6
* S
* A
* B
* C
* D

<<外部排出接続装置>>

* 1
* 2
* 3
* 4

＜制限注意事項＞

### 用紙トレイの状態

＜内容＞

付録のオプションを参照のこと。

＜システムデータ＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 設定 | デフォルト値 | 設定範囲/備考 |
| 用紙トレイのサブステータス | 自動設定 | なし | 用紙ミスセット  Warm Up中  NULL(上記以外のときの設定値) |
| 用紙トレイの(Warmup)待ち時間 | 自動設定 | 0 | 0..255 (単位は分) |

### 排出トレイ、出力装置の状態

1. 排出トレイ、両面モジュールの状態

「DDF-IOT-Grief-Apx-Option-Kx.x.x.xls」を参照のこと。

【特記事項】

Finisher Tray、Booklet TrayのトレイニアフルはD2G-Finの場合のみ。

1. Finisherの状態

(IOTDeviceFunctions Common編と同じ)

### 消耗品、定期交換部品の状態

消耗品について、「(Appendix 消耗品)」を参照。

#### (欠番)

#### (欠番)

### 定着器の動作状態

(IOT Device Functions Common編と同じ)

# 備考/補足

## 用紙トレイ

### 封筒の置き方

IOT-FF付録を参照。

### Tab紙の置き方

(IOT Device Functions Common編と同じ)

### くるみ製本に関する補足事項(制限事項)

（サポートせず）

## IOT機内温昇時の半速動作

（サポートせず）

## 個別対応一覧

ここでは、個別対応および個別対応的機能について記載する。

| RQ | SC | 項目 | 内容 | 対象 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

# 改訂履歴

| K版 | 改訂日 | 改訂者 | 項目 | 理由/内容 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| D1.0.0 | ’20.03.13 | 藤田 | All | TOKIWA PF3向け第一版作成 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |